

# 伊万里 市議会だより

## 第35号

平成22年  
(2010年) 10月



### 夏休み、楽しかったね

- ♥ 「好き嫌い克服ツアー」
- ◆ 「お呈茶会」伊万里子ども茶道教室
- ♠ 「布の絵本を作ってみよう！」

9月補正額： 7億7,069万円  
予算総額： 216億9,861万円  
(対前年度同期 △5億5,768万円、△2.5%)

特集

ご存知ですか  
前田家住宅

平成22年伊万里市議会第3回定例会  
会期日程

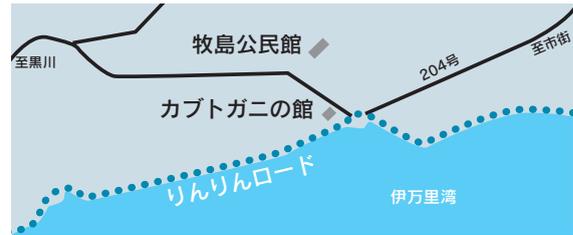
9月 開議時刻 午前10時

日	種別	内容
3(金)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等25件 … 一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
7(火)	本会議	議案等に対する質疑
8(水)	本会議	議案等に対する質疑 決議案の上程（企業会計決算審査特委設置） 決議案の提案理由説明、質疑、討論、採決 特別委員会委員の選任、正副委員長互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
9(木)	休会	特別委員会（交通網・港湾・企業誘致対策）
10(金)	休会	特別委員会（地域医療・環境施設整備対策）
13(月)	本会議	一般市政に対する質問
14(火)	本会議	一般市政に対する質問
15(水)	本会議	一般市政に対する質問
16(木)	休会	常任委員会
17(金)	休会	常任委員会
21(火)	休会	正副委員長会
24(金)	本会議	市長提出追加議案等10件…一括上程 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案等の提案理由説明、質疑、討論、採決 特別委員会委員の選任 （一般会計及び特別会計決算審査） 特別委員会正副委員長の互選 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

議会ホットコーナー

りんりんロードで「おもしろ自転車」に乗りましょう

牧島町の「カプトガニの館」近くにある自転車専用道路（りんりんロード）に、おもしろ自転車が配置されます。収納庫の整備などを行い、来春にはお目見えの予定です。お楽しみに！



こんな  
自転車が  
数台  
入ります



◎ 伊万里市監査委員の選任

林 大作氏の再任を承認しました

◎ 人権擁護委員の推薦

馬場義行氏（再）、野口勝美氏（再）、和嶋一範氏（新）の推薦に同意しました

議案質疑

■ 女性特有のがん検診

**質問** 昨年度から特定の年齢の方に乳がんと子宮がん検診の無料クーポンが配布されたが、補助金返還が生じている。受診状況とPRは。

**答弁** 市民部長

乳がんで44・8%、子宮がんで40・8%であったが、特に子宮がん検診で若い方の受診率が低い。対象者への働きかけを強めたい。

意見書

■ 教育予算の拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担の割合の縮小は教育の自治体間格差を生じかねないので、義務教育費に係る財源の確保を求めるもの。

■ 地方分権に対応する地方議会の確立を求める意見書

地方議会を充実・強化するため、議長に議会召集権を付与することや議員の職責・職務の範囲を明確にすることの法改正を求めるもの。

■ 新たな経済対策を求める意見書

即効性のある事業の前倒しを行うなどの早急な経済対策を求めるもの。

■ 口蹄疫被害の復興支援と再発防止を求める意見書

被害にあった地域の復興再生を図るため、関係自治体に対して財政、税制面で支援を行うとともに、再発防止の万全対策を講じることを強く求めるもの。

定例会会期日程など

# ご存知ですか、前田家住宅

～国登録有形文化財建造物・22世紀に残す佐賀県遺産～

前田家住宅は、伊万里税務署近く（市内立花町西円蔵寺区内）にあります。個人のお宅ですが、ご当主の好意によりイベントなどに開放され、市内外からの来訪者に感動を与えています。



## 前田家の歴史

- ・江戸時代に代々、伊万里郷大庄屋を務めている。
- ・『葉隠』の口述者である山本神右衛門常朝の母は、前田家初代の娘。
- ・また歴代当主が香橋神社や岩栗神社へ寄進した燈籠が、今も伊万里神社境内にあるほか、同鳥居には「伊万里郷大庄屋 前田善五利昭」（第9代）の名がある。
- ・第10代当主 前田厩之助利之は、明治半ばから大正初期まで初代大坪村長を務めた。

## 前田家住宅

- ・現在の主屋は、江戸時代後半の天明4（1784）年に建築された。
- ・約1,000坪ほどの細長い屋敷地の中央に主屋があり、寄棟造一部二階建て。建築面積約291㎡で、民家建築では県内最大規模。屋根は茅葺で、佐賀民家の特徴である「くど造り」の最も発達した姿を伝えている。大庄屋役宅としての公的なスペースと、豪農の私宅としてのスペースが区分され、鍋島藩主を迎えたときされる「オナリノマ」などがある。
- ・その他、東・西・北の蔵などがある。
- ・「漪園」の名を持つ庭は、紅葉の頃を筆頭に、四季折々の美しい風情がある。



〈参考資料 大坪公民館作成「前田家住宅パンフレット」〉

## 前田家住宅の今

- ・閉まったままになっていた前田家住宅を何とか甦らせたいとの思いで、平成15年度から3年間、大坪塾の皆さんが道具類などの整理・調査をされ、現在の姿がある。中でも古文書類は1万点弱を数え、県下で最多。
- ・平時は一般開放されていないが、市民の手によるイベントなどの際は、市内外から多くの来訪者で賑わう。

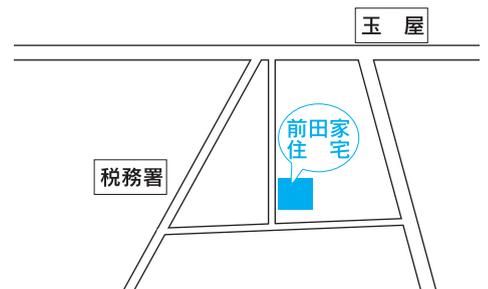
### 現在計画中のイベント

#### ★ 11月26日(金)～28日(日) テーブルコーディネート展

- ・伊万里鍋島焼窯元おかみ会の皆さんの手による作品たち
- ・エッセイスト伊藤緋紗子さん(『華の人』著者)の作品 など
- ・共催イベントとして、商店街での「おもてなし」

#### ★ 来年2月 伊万里郷大庄屋のひな祭り

- ・昔なつかしいお雛様と「伊万里ならではの雛様」を計画中。
- どちらも詳細は市の広報などでお知らせします。



## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました、条例議案1件及び平成22年度補正予算を審査し、原案の通り可決すべきものと決定いたしました、

### 「消防本部」

- ・伊万里市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

伊万里市火災予防条例(昭和37年第1号)

第8条の3 第1項中「又は固体酸化物型燃料電池」を加え、条例の一部を改正する。

- ・補正予算(100万1千円)

女性消防隊の初期消火活動用軽可搬ポンプを二里町中田婦人防火クラブへ配備する。

### 「総務部」

- ・防火灯設置費助成事業「62万3千円」

申請行政区、62行政区で101基の申請があり不足する補助金を補正する。

「補助額は総事業費の二分の一で、1基当たり2万5千円が限度額」である。

- ・市民センター管理運営費「308万」

平成4年9月に開館され、18年を経過しており音響施設等他の修繕が必要との説明を受け、今後も空調施設他 等々の整備が必要になるのではと説明を受けた。

また、市民センター施設運営業務等委託料も補正されている。

### 「政策経営部」

- ・婚活応援推進事業「168万3千円」

伊万里市に在住または勤務する20歳以上の独身者で結婚を希望する人は登録をお願いし、伊万里市役所婚活課へ連絡をお願いします。今後の活動としては、講演会・講座・出会いの場イベントの他に、伊万里市近郊の武雄市・有田町・松浦市等の協議を行い進めて行くとの説明を受けた。

また、各町に婚活活動サポーターを配置したいとの説明も受けた。

- ・財産管理事業「71万2千円」

松浦公民館跡地側溝整備については、分譲地としての整備を行い、3区面の宅地として分譲を計画しているとの説明を受けた。

- ・戸籍住民基本台帳費「56万9千円」

住基カード申請に伴うカードが不足する

見込みであるので新たに確保する必要が出てきた。佐賀県内10市の住基カードの普及率は4番目で2.86%である。

年次毎に発行も増えており、高齢者の方は身分証明書にもなっているとの説明を受けた。

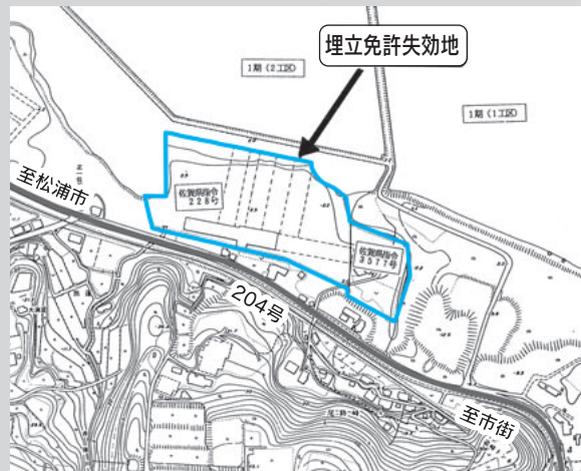
平成15年8月から住基カードが発行され、平成16年1月29日から電子証明が発行されている。平成22年8月末有効カード発行枚数は1,661枚となっている。

- ・浦ノ崎失効地対策事業「7万円」

今後、検討委員会を設置(5名)し、地元協議会の意見を聴き集約を行い、専門的な分野の委員を含め、今後、開発を進めて行く方針であると説明を受けた。



浦ノ崎失効地の状況



◎前田 儀三郎 ○山崎 秀明  
前田 教一 松永 孝三 高木 久彦  
占野 秀男 盛 泰子 浜野 義則

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、  
教育委員会、市民病院

当委員会に付託されました条例議案2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算5件について、慎重審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定しました。

議案54号国民健康保険高額医療養費支払資金貸付基金条例の今回の改正主旨は、従来、国民健康保険税の滞納者に対しては貸付対象者として除外されていたが社会情勢、経済状況の悪化により市民生活を守るため滞納をしている市民にも貸付を実施する改正条例である。

一部の意見として貸付の滞納で基金の原資自体にも影響が及ぶのではとの指摘もあったが、約2ヶ月後には高額医療費の給付がなされるので、実際の懸念は解消されることである。

民生費関係では、病後児保育事業に補正がなされている。この事業は子育て世代の若い親子から強い要望があり、民間病院の協力を得て昨年度から実施されている事業であるが、現在利用率が非常に低く、この事業目的と認知を広く市民に周知徹底させる必要がある。

又、県安心子ども基金特別対策事業費補助金を活用し、子育て家庭が外出しやすい環境を整備するため、公的場所へベビーシート等を設置する事業費が計上された。設置箇所については利用者サイドへの十分な配慮に心がけるよう指摘がなされた。

衛生費関係については、環境センター施設維持補修工事費として、2,800万円が計上されている。平成3年から20年までの間に総額20億1,700万円、法令に準じたとはいえ巨額の改修費を投入してきた。伊万里市としても4市5町で目指している西部広域ゴミ焼却センターの設置主自治体となっているが、新施設移行までは必要最小限の補修費にとどめるべきと考えられる。

教育費関係では、新規事業でりんりんロードで育む健やか親子事業が採択された。この事業は牧島地区が実施しているりんりんロードやカブトガニの館等の社会的資源を活かした親子のふれあいを図るため、県安心子ども

基金補助金を活用し、おもしろ自転車の整備を行うものである。安全上の問題からはヘルメットの予算は計上されておらず、その指摘に現在東山代町公民館に常備されている物を譲る受け、安全対策として対応することである。又、他には国見台庭球場の改修費補正は注目に値する。30年来の市民の強い要望事項で、平成25年迄の継続事業となっているが、1日も早い完成が望まれるところである。



現在の国見台庭球場

委員会2日目に、前田家住宅と、国見台庭球場の現地視察を行った。前田家住宅は築200年、22世紀に残す佐賀県遺産としては最大の規模を誇る。指定文化財と違い、比較的規制が緩やかな登録有形文化財に指定されているので増改築が可能とのことであり、今回、県補助金を活用し屋根等の補修予算が計上された。



前田家住宅

◎笠原 義久 ○草野 謙  
内山 泰宏 船津 賢次 前田 久年  
樋渡 雅純 島田 布弘 下平 美代

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案1件、補正予算議案五件について審議した結果原案通り可決すべきものと決定しました。

## 条例議案

## 伊万里市高齢者等肉牛飼育モデル事業基金

市内の肉用資源の確保と高齢者等の福祉の増進を目的として、国、県、市で基金を造成し、昭和五一年より繁殖雌牛を貸し付ける事業であったが、国の三位一体改革により返還が求められ段階的に返還を行ってきたものである。来年までの償還となるが、償還後も現状の貸し付け頭数であれば影響がないとの報告であった。

## 予算議案

水道部 井手口川ダムは、堤体の工事も完了し24年4月送水に向けて浄水場工事が進んでいる。第四工業用水道については、まだ計画給水量に至っていないが、企業体も今年の夏から幾分生産回復はしているものの早い景気回復が待たれる。又水道料金は平成8年の改定であるが、現在も順調な水道会計であり、今後しばらく値上げの予定はないとの報告であった。



建設中の井手口川ダム

建設部 予算のほとんどは6月と7月の梅雨前線豪雨による補修工事費であり、ため池、道路、河川、農地、農道等他にも小規模なものまで124カ所もあり、早い復旧が望まれます。

産業部 中山間地域直接支払交付金事業については、事業仕分けでも継続となり本年から五年間第三期に入ります。農業情勢の悪化に伴い高齢化が進む中で本事業により農地保全に期待するものです。又、口蹄疫対策では市内畜産農家に素牛導入延期等の影響が出るのは必至であり、その影響緩和のために肉用牛肥育経営安定対策事業の掛金の一部助成を行います。

商工費ではバス運行事業で多くの意見が出た。現在空白地域の運行については充分検証し早急に対処するとの事でした。しかし、現在運行路線の利用者が極端に少ない路線については残念ながら廃止を余儀なくされます。地区住民の皆様へは多くの利用を願うところです。

今年12月30日に豪華客船「ふじ丸」が伊万里港に寄港しますので歓迎式典の予算を承認しました。多くの皆様の参加をお願いします。



新規就農者アスパラハウス視察

◎堀 良夫 ○松尾 博幸  
 松尾 雅宏 多久島 繁 渡邊 英洋  
 岩橋 紀行 田中 啓三 福田 喜一

## 交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

## 1. 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路については、北波多ICまで平成23年度開通を目指して工事中である。伊万里市部分においても用地取得が進み住吉橋下部工及び板冶川橋下部工等が行われた。伊万里道路においては、伊万里川から伊万里西IC間に橋梁箇所が多いことから設計に相当な時間を要しており、関係機関との協議が進められている。伊万里松浦道路については、佐代川橋下部工及び久原地区改良工事等を予定されている。

伊万里・松浦・平戸の3市議会で構成する西九州自動車道建設促進協議会は、佐賀・長崎両県の知事・議会及び国道事務所に対し建設促進の要望活動を行った。今後も国の関係機関及び両県選出の国会議員に対し要望活動を展開していく。

## 2. 港湾整備について

8月3日の「伊万里港の重点港湾選定」は、**行政視察報告(7月28日～30日)**

## (1) 佐賀県港湾課

重点港湾の選定において国土交通省としては、『将来性』と『民間の力』を重視して選定されるとのことであった。今後の課題としては輸出に力を入れる必要があるなど、今後のセールスが鍵になるとのことである。その後8月3日に伊万里港が重点港湾に選定される。

## (2) 福岡県大牟田市

企業誘致において、工業団地が8地区に分散されているが、それぞれ特徴をもった工業団地化され、団地によってはスタートアップセンターと称し、市で物件を用意し、それを企業に貸し出すことにより企業から税収アップを図るやり方など、財政力の差が感じられた。三池港の港湾整備については、遠浅のため大型の船舶は期待できないが、交通アクセスが整備されており流通的には伊万里市にとって脅威である。

## (3) 大分県佐伯市

東九州自動車道の無料化の影響は、観測値において高速道は交通量が2倍増となっているが、国道10号においては半減している。大分市等をターゲットに「グルメ観光」を市・

官民一体となったこれまでの取組が評価されたものと思われる。七ツ島地区多目的国際コンテナターミナル整備の状況は、平成24年度の岸壁供用を目標に-13mの専用岸壁と航路泊地を整備中であり、岸壁背後のふ頭用地整備、ガントリークレーン整備を予定されている。

## 3. 企業誘致について

重点港湾の選定など追い風も吹いている状況のなかで、将来を見据えた新たな工業団地の必要性を要望した。



ガントリークレーン予定地

商工会議所が一体となり推進したことにより、「道の駅かまえ」においては客数が160%となり、売上も270%となった。伊万里市においても西九州道の進捗に合わせ内外に対し、情報発信を強化していく必要性を痛感したところである。佐伯港では有力企業の事業撤退による荷取扱量の大幅減がみられ、市勢の関連性を強く感じられた。

## (4) 大分県別府市

別府港は国際観光港として、国直轄事業の耐震強化岸壁を事業実施中である。しかし、交通アクセスが向上したことで、フェリー利用者が減少した為、今後中国等の国際観光客船の誘致に力を入れて行くとのことである。



大牟田港

◎松尾 雅宏  
渡邊 英洋  
笠原 義久

○多久島 繁  
島田 布弘  
前田 儀三郎 盛 泰子

# 地域医療・環境施設整備対策調査特別委員会

## 特別委員会報告

### 1. 公的病院統合整備事業

入札による建築工事、機械設備工事、電機設備工事等の病院本体建設の落札額は41億9,178万9千円（落札率88.169%）で予定価格から約5億円が減額となりました。

今後は国道附加車線工事や上下水道工事等の周辺整備工事とあわせて、経営統合と統合病院の運営に係るソフト事業が実施されることとなりますが、これらを含めた総事業費は58億4,700万円が見込まれています。

事業費に対する伊万里市の負担額は約16億1,000万円（有田町約13億2,000万円）となり、交付税措置額を差し引いた実質の支出額は、最も多い平成24～28年度で年間約4,700万円。平成29年度～53年度までは年間約2,900万円が見込まれています。

また、統合新病院の運営は公営企業法の全部適用により経営責任の明確化や決定の迅速化・弾力化がはかられ、収支計画（案）では開院7年目の平成30年度から黒字経営の計画になっています。

### 行政視察報告（8月4日～6日）

#### ●公立八女総合病院（福岡県八女市）

地方公営企業法の全部適用へ移行し経営責任を明確化にして、医師や管理職の人事や報酬に成果主義を導入され、モチベーションの向上により経営面の効果向上の説明を受けた。

#### ●藤ヶ谷清掃センター（大分県別府市）

複数の企業で構成される企業連合体と基本契約を締結しており、その企業体の中に焼却灰の受け入れ企業も参入している。

処理方式は、焼却灰の資源化（セメント原料化）となっている。

#### ●三菱マテリアル(株)九州工場（福岡県苅田町）

国内有数のセメント工場で焼却場から排出される焼却灰の受け入れ工場でもある。

### 2. ごみ処理施設建設事業

佐賀県西部の4市5町により佐賀県西部広域環境組合が設立され、平成27年の供用開始を目指して日量処理能力201トンのごみ処理施設建設事業が進められています。

ごみ処理方式については専門家5名などで構成する「施設整備検討部会」の評価検討を受け、選定のポイントとして①資源循環とゴミの持つエネルギーの回収量が多い②環境にやさしい③安定的に安全にゴミ処理が出来ること等を総合的に判断し、環境組合の「建設委員会」では原料化システムが選定され、組合の全員協議会で選定経過が説明されています。

その後、地元松浦町の対策協議会や関係地区において説明会や協議会の現地視察が実施され、今年6月松浦町の「対策協議会総会」において、一定の理解は示されたものの承諾・同意には至ってない。

地域振興策や環境影響評価の準備書作成等、システム選定が確定しないと具体的に取り組みないものもあり、今後の積極的な取り組みを望むものです。

平成24年からさらに、新規増設の計画があることが表明された。



三菱マテリアル工場

◎浜野 義則      ○松尾 博幸  
 内山 泰宏      草野 讓  
 山崎 秀明      堀 良夫      下平 美代

一 般 質 問 (質問順)			
議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
船津 賢次 (一問一答)	1. 介護保険料・低所得者減免制度の利用状況について (1)平成22年度の利用状況 2. 財政問題について (1)ここ数年間の経常収支比率について 3. 福川内川の氾濫と浸水対策について (1)調査結果と今後の方針	松尾 雅宏 (一問一答)	1. 有害鳥獣対策と農業関連諸事業について (1)有害鳥獣対策について (2)戸別所得補償制度加入状況について (3)小規模土地改良事業実施状況について 2. 市街4k圏のコミュニティバス運行について (仮称・つる号・かめ号) 3. ふるさと創生人材育成事業の今後について
島田 布弘 (一問一答)	1. 4市5町広域ゴミ処理システムについて (1)セメント原料化システムありきと思える進め方 (2)建設予定地である伊万里市として市及び(地元)松浦町の安全性、安定について市の認識は (3)地元振興策の取組みの現況	盛 泰子 (一問一答)	1. 来年度予算編成へ向けて (1)枠内に入らなかった事業の公表 (2)全庁的な調整 2. 黒澤明記念館問題について (1)プロダクションとの交渉状況 (2)財団理事会などについての情報共有 (3)理事会への「参加」 (4)財団の管理監督者である県の責任 3. 博物館構想について (1)市が保有する資料の総量とバックヤード (2)黒澤サテライトスタジオの状況
下平 美代 (一問一答)	1. 公営住宅のグループホーム事業への活用について 2. 川南造船所跡地の活用について (1)多様な意見の調整 (2)決定までのプロセスについて (3)戦跡として残す考えはないのか	草野 譲 (一問一答)	1. 第5次伊万里市総合計画について 2. 第4工業用水道事業のその後について 3. 閣議決定をされた地域主権について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 高齢者の所在不明問題について (1)住民基本台帳の管理 (2)個人情報への壁、家族聴取の限界 2. 災害時の避難勧告等の発令基準について (1)避難支援政策の取り組み状況 (2)発令基準 (3)土砂災害ハザードマップ 3. 「道の駅伊万里」機能充実と本市の関わり (1)行政・運営主体との連携 (2)休憩・情報発信機能 (3)「伊万里」の魅力発信の拠点に	占野 秀男 (総括)	1. 黒澤記念館問題のその後と見通し (1)保証金の返還協議 (2)サテライトスタジオの今後の運営 2. 都市計画道路の指定と実施計画について
前田 久年 (一問一答)	1. 地籍調査について (1)昨年度までの事業進捗状況 (2)未調査地区の今後の計画 2. 地域の元気推進事業について (1)事業の目的 (2)現在の取組状況	山崎 秀明 (一問一答)	1. 体育施設使用料の無料化について 2. 新たな路線バス運行の今後の方向性について 3. 黒澤明記念館の権利金返還交渉について 4. 第4工業用水道の運用状況について

## 一般質問

介護保険料の減  
免制度について

船津 賢次

**質問** この制度の利用者が非常に少ないので対象者を絞り込み周知するよう求めたが、今年度の利用状況は。

**答弁** 市民部長

減免の対象になると思われる161人を絞り込み制度の紹介とチェックリストを送付した。相談に来られた方は17人その内5人が申請。3人が減免された。

**質問** チェックリストは例えば仕送りの有無についての問い合わせがあるが限度額が明示されていない。また、預貯金の限度額が150万円となっているが、これがネットクになつていないのではなか。

**答弁** 市長

県内他市との比較では伊万里市の制度はいい方だ。制度が始まったばかりでもあり、第5次介護保険制度の中で検討したい。

## 財政問題について

**質問** 経常収支比率がここ数年ほぼ100%になっている。県内10市との比較でもワースト1だ。この急速な悪化の原因は。

**答弁** 政策経営部長

地方交付税の減（10年前との比較で27億円の減）と繰出金の会計基準の変更が大きい。

福川内川の氾濫と  
浸水対策

**質問** 河川改修の調査費が予算化され改修を期待したが、調査の結果は。

**答弁** 建設部長

残念ながら補助事業の採択要件を満たさなかった。今後の方針としては排水ポンプの増強など県でできる事業はないか検討し要望活動を行っていく。

**質問** 平成18年に地元から

河川の護岸工事、葦の刈り取り、汚泥の除去等の要望書が出されているが。

**答弁** 建設部長

葦の草刈りや一部汚泥の除去を行った。

4市5町広域  
ゴミ処理

島田 布弘

**質問** セメント原料化は多くの課題がある。特に安全・安心・安定化が、100点満点の配分方式で30点

であり、安全面に60点位が必要と考えるが。又焼却灰は、全量をセメント会社へ搬出するとあるが疑わしい。

**答弁** 市民部長

セメント企業への搬出は70%であり、30%は地元埋立てとなる。

**質問** 地元は100%生灰の搬出と思っている方が多い。生灰を更に1300度の高温処理にて溶かし、スラグ化するのが最も安全安心安定化であり再考を。

**答弁** 市長

専門家に依頼しているの  
で私は全く関与していない。ネジを元に戻し、検討委員会で見解を述べて頂き

**質問** 武雄市長はセメント

原料化について、市民の安全・安心についてトップとして一番最初に動かなければならぬし、安全・安定化は第一条件である。焼却灰は外部委託であり問題があり、修正の方向で議論するとの答弁である。伊万里市長としての考えは。

**答弁** 市長

私は専門知識はなく、能力がない。検討委員会で疑義については出席頂き 場合もどちらでも良い。

**質問** 風評被害が発生した場合の補償は。

**答弁** 市民部長

全くないと考える

**質問** 考え方が甘い。稼働年数もハッキリ示されない、借地での借入れが適当ではないか。地権者になるであろう方々に早く明示するべきでは。

**答弁** 市民部長

環境調査が終り次第取組む。

**答弁** 市長

組合会議へそれらの意見を申し上げスケジュールを延ばし意見の場をつくる。

川南造船所跡地  
の活用について

下平 美代

**質問** ①跡地の活用については多くの意見があるが、どのような手立てで集約するのか。

②川南造船所で何が作られていたのか事実の確認が必要と思うが◎伊万里市史。◎ふるさと読本伊万里のれきし（教委）◎山代町史に特殊潜航艇がつくられたの記述もある。

③遺構を戦跡として、平和の発進地として残して欲しいという事に対しては。

**答弁** 政策経営部長

① 地元、山代町開発促進協議会より建物の撤去、公園化の要望もある。戦争体験等からの声があるのも承知している。学識経験者や地元住民による検討委員会が集約する。②残っている関係資料が乏しく当時の正確な事実関係が分かつて

一般質問

いない。③検討委員会は5人による構成で学識経験者・郷土史家・地元代表。3回程度開催し今年度内に方向性を得たい。

答弁 市長

検討委員会には戦争体験者などさまざまな意見を聞き検討して頂ければよい。

公営住宅のグループホーム活用

質問 心に障がいのある人が何がしかの支援を受ければ自立した生活ができる人達のために市営住宅をグループホームに活用できないか。法律は活用できるよう改正されているが。

答弁 建設部長

市営住宅も入居希望者が多く現在のままでは対応は厳しい。雇用促進住宅が市へ移譲の話があったが国の方針で当分の間はできない。法人で物件取得の場合助成制度がある。

「道の駅伊万里」機能充実と本市の関わり

樋渡 雅純

質問 「道の駅」施設は国で駐車場、トイレ、道路情報提供を、地元で物産館、地域情報案内、休憩所等分

担が決められている。特に「休憩施設」、「情報発信機能」、「地域連携機能」に特徴がある。①県内における運営形態は②市と運営主体者との関わり方は③「道の駅」の公的役割の機能を果たす上で、今後の連携は。

答弁 建設部長

①平成7年4月指定登録を受け、市と締結した提供サービス等の協定によりJAが経営している。

県内では7駅全て市町が設置者で、施設を保有、整備し、運営は指定管理又は自主運営している。

②市との関わりは管理協定以外ない。基本的に準公共団体としてJAの判断で全面的に行って頂いてい

る。③市として「道の駅」としての条件が維持されているか、把握の必要性はある。施設の改修、充実の点では、JAの自己資産として基本的に行って頂くことになるが、JAとしての今後の考えを確認、協議していきながら、市として努力していく必要がある。

質問 西九州自動車道の開

通後の影響を、危惧する声もある。「道の駅伊万里」ふるさと村は「道の駅」本来の公共的な面を支える行政と、特産品等を活用しサービスを提供する運営主体者の連携が新しい魅力に通じる。市長の考えは。

答弁 市長

都市・農村間の交流や、生産者と消費者との交流を通じて、今後の農業をどう変えていくか、当時としては画期的な施設であった。

魅力ある施設充実の為に、特色ある「食」の提供や、観光の工夫も含めJAと一緒に互いに知恵を出し十分活用されるよう今後、関わっていく必要がある。(二問省略)

地籍調査について

前田 久年

質問 平成29年度に調査完了の計画だが、過去2回の計画変更は、いつ行っただか。変更理由は何か。

答弁 建設部副部長

当初計画では、昭和58年度～平成14年度の20年間で完了する予定が、平成6年度に、平成21年までの27年間で1回目の変更を行った。その後、国の方針変更で精度の高い調査が求められ、調査に要する時間と測量費が大幅に増え、平成17年度に2回目の計画変更を行った。

質問 木場地区の国道20

4号周辺の地籍調査を、本年度別枠予算として実施しているが、引き続き来年度も実施の検討をしてほしい。

答弁 市長

土木事務所も地籍調査が済めば、事業に取り組みとされているので、地籍調査

の予算の許す範囲で、別枠として取り組めるように努力したい。

質問 平成19年度から新地籍課税が行われているが、現時点での増収はどの位か。

答弁 総務部長

平成19年度は約6千7百万円、20年度は約6千8百万円、21年度は約7千2百万円の増収となっている。

元気推進事業について

質問 平成19年度から24年度までの計画であるが、現在の取り組み状況はどうか。

答弁 政策経営部長

モデル地区の二里町、波多津町、推進地区の牧島町、立花町、黒川町、東山代町、山代町、21年度取り組み地区の大坪町、南波多町、大川町は事業に着手されている。また今年度からの伊万里町、大川内町、松浦町はまちづくり計画策定に向け話し合い中である。

## 一般質問

## イノシシ対策と戸別所得補償制度について

松尾 雅宏

**質問** 近年のイノシシは慣れてきて、里山に下り被害をもたらしているが、その対策は。

**答弁** 産業部長

猟友会による駆除と電気柵の防護で行っているが、捕獲頭数は増加しており、電牧面積も19年以降から換算すると市内水田面積の半分に相当する。現在まで有効な手段はなく今後、適切な防護柵の講習会や猟友会の協力のもと被害軽減に努める。

**質問** 避妊薬や眠り薬入り餌を使い駆除は出来ないか。

**答弁** 産業部長

現在のところ保護の関係から薬物使用はしてはならない事となっております。

**質問** 山間地では法面が広くバッテリー式の電牧では草が伸びて触れると漏電するため、草刈作業に追われ

る。家庭用電力での対応は可能か。

九州電力では、1km迄は無償だが、その先の延長にはm当たり3255円の費用が必要となる。

## 市街5km圏のコミュニティバス運行について

**質問** 現在、いまりんバス、元気バス、新たな路線バスと市街地と遠隔地には運行しているがお年寄りはどこにもおられません。市街5km圏の空白地の運行をどう考えるのか。(牧島・永山・屋敷野・緑ヶ丘・古賀・あさひが丘等)

**答弁** 市長

大坪バイパス開通に合わせ、5km圏内の牧島町・大坪町・あさひが丘団地等への運行に向けて指示している。

## ふるさと創生人材育成事業について

**質問** 平成14年以降休止しているが、今後どうするか。

**答弁** 政策経営部長

庁内に検討委員会を設け再開に向けて検討する。

## 黒沢記念館問題

盛 泰子

**質問** 経過が見えてこないが、どのような状況か。

**答弁** 政策経営部長

ようやく財団理事会の体制が整い、弁護士同士の協議が始まると聞いている。

**質問** 県に情報公開請求した資料によると、新たな理事会は黒澤久雄理事長、濱野保樹氏、松本修治氏、黒澤和子氏、熊田雅彦氏、黒尾民夫氏、石崎浄司氏の7人で、監事に弘中弁護士が就任(未公表)。これらについて市のHPで公開を。

また、直近の理事会資料には疑問点が多い。例…①天変地異のような事態があったのに、09年度と10年度分の事業計画が殆ど同じ内容

②08年度と09年度分の監査報告書では、訂正印もないまま数字が手書きで訂正されている。また「寄付金確

保の継続した努力を認めるとあるが3千万円の予算に対して決算は3万円と6万円しかない。財団の監督官庁である県がこのような報告書で良しとするのは無責任。市長から強く善処を求めるべき。

**答弁** 市長

指摘の点は県の対応を待ち、今後とも連携して問題解決へ向けて努力する。

## 博物館の構想

**質問** 昨年度に策定した「基本構想」に基づき、どのような進め方を考えているか。

**答弁** 市長

現在の状況下で新たなハコものを作ることは困難。もし作るとしたら既存施設のリニューアルでと考える。資料保存のバックヤードや研修室などが必要なら、私案としては市民病院跡の活用も。

(二問省略)

## 第5次伊万里市総合計画について

草野 讓

**質問** 今回の計画で市長が描く将来の伊万里市像の中で特徴的なものはなにか。

**答弁** 市長

これからの時代を考え一番は市民福祉の向上と安心安全の町づくりを目指す。基本理念として市民との協働による安心と豊かさの創造を理念とし活力あふれ人が輝く安らぎの町伊万里を将来都市像と描く。

**質問** 計画の取組みで東アジアとの交流の拡大を掲げられているがどの様な取り組みか?

**答弁** 政策経営部長

民間活力の導入を図り、既に一部取組んでいるがコンテナ航路拡大や大連市や青島市でアンテナショップの開催を行い伊万里産の特産物の販売とPR活動に取組んでいく。

### 第4工業用水道事業 のその後について

**質問** ①塩分濃度について現時点での濃度は問題のない数値か②締切り堤防の傾き追加工事の為、ヘドロの除去作業が一部出来なかった事は濃度の問題に影響はないのか。

**答弁** 水道部長

① 毎日貯水池内9ヶ所において濃度の測定を行っている。その結果50 PPM以下で推移している。工業用水の基準が80 PPM以下である事から問題はない② 覆砂が50 cm程度あり貯水能力の関連からある程度の除去作業は行った。時間的には少し長くかかったが今のところ濃度の問題はない。

**質問** 閣議決定をされた地域主権について。今後政府はこの様な方向性を打ち出したがその対処の仕方と主張すべき点は。

**答弁** 政策経営部長

ひも付きのない一括交付金の件など望む政策は沢山あるが、今後さらに検討を深めたい。

### 黒澤記念館問題

占野 秀男

**質問** 黒澤記念館建設について黒川の「夢みさき公園」内の建設はあきらめ、現在のサテライトスタジアムをリニューアルして記念館にしたいとの意向が示されたが、伊万里市は議会の了解も得てこれを断った。

その後は契約金の返還などの協議を双方の弁護士を通じて実施しているが、決着が遅い、なぜそんなに時間がかかるのか。

記念館を断念すれば、サテライトスタジアムは、借金から借りて市の予算で維持管理費を支出し、財団に提供していることから来年度の予算編成もあるが今後どうするのか。

**答弁** 政策経営部長

理事の選任など財団側の体制が整わず進んでいない。7月末に理事など決まっ

たのでこれから本格交渉になると思う。

**答弁** 市長

双方の弁護士が協議中であり1月末までにめどをつけて欲しい。新年度予算の計上は難しいと考える。

### 都市計画道路の 早期実施

**質問** 都市づくりの基本となる都市計画道路に指定してから、30年以上も放置された計画道路が何本かある。計画だけして何もしない

から計画道路内に新しい家が建てられ、宅地や田畑の有効利用ができない。なぜ長期間放置して来たのか。一例をあげれば、大坪小学校線は38年間も手を付けられていないが、いつ着工するのか。

**答弁** 市長

道路計画内でも建築申請があれば断れない。また交通量の多いところから優先して事業化したため遅れている。

必要路線として指定継続中であり、陣内く白野線が完了次第着手したい。

### 体育施設使用 料の無料化

山崎 秀明

**質問** 健康づくりやスポーツ振興の面から市内各地域、各種の体育施設を開放していつでもどこでも誰でも無料で使用することができないか。これは健康福祉のまちづくりにもつながる。

**答弁** 教育部長

生涯に亘るスポーツライフを実現できる環境は必要。無料化となれば新たに運動を始めるきっかけにもなるが一定の使用料は受益者負担の原則に基づくものでスポーツの振興とは分けて考えている。使用料は特定財源として維持管理費に充当されメリットの面から無料化は困難である。

### 新たな路線バス 運行の今後

**質問** バスの運行は三地区で行われている。利用状況

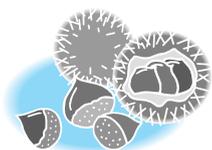
が低いと思われるが、乗車向上のための改善策は検討されているか。

**答弁** 産業部長

区長会、利用者からの意見を聞いて反映させています。ソフト面では運行ルートや時間変更があり一部廃止もなった。

現在の改善点は、北部地区で2便目の時刻を遅らせることや井野尾ルートを加え病院前にも止ることとした。

西部地区では、始発が遅いことや、浦ノ崎駅前の待機時間が短いことの見直し、東部地区では、回送線を連絡線にしてほしいことへの対応と合わせて2便から4便への変更とすることとした。また、利用が少ない松浦線、大川原、原屋敷、喜三郎線は廃止した。これらは8月上旬の区長会及び利用者の意見を聞きながら対応したもの。



## 市議会議員研修

暑い最中の8月3日(火)午後佐賀市(担当・小城市)で開かれた。

この研修は、毎年この頃に各市を巡回して催されるもので、議員の資質向上や時局の知識吸収を目的としており、毎回著名な方の講演を拝聴している。

今回は最近のテレビ対談などで、政局の動向を解説されている白鷗大学教授福岡正行氏を迎えての話で、「議会改革」という演題であった。

中味は民主党の政権奪取後の政局の変換を捉え、はしやぎ過ぎだと切り捨て、「猛暑とかけて民主党ととく、こころはいい加減にしろ」に始まった。

二人の首相の迷走ぶり、借金大国1,000兆円への日本経済の苦しみ、ネジレ国会、地方議員は頑張っているなど議員感覚を奮い立たせるものであった。



## お知らせ

供日が近づいてまいりましたが、公職選挙法の規定により、市長、議員は選挙区内の人に対して、酒食等を提供することは出来ません。

又、年賀状などの時候のご挨拶状も、頂いた賀状に対して表裏とも自筆で書いたもの以外は禁止されています。皆様のご理解をお願い申し上げます。



## 平成21年度 決算特別委員会

一般会計・特別会計

○ 高木 久彦  
○ 樋渡 雅純

内山 泰宏

松尾 雅宏

多久島 繁

草野 儀三郎

前田 紀行

岩橋 泰子

審査日程

10月29日、

11月1、5、8、9日

## 企業会計

○ 船津 賢次

○ 松永 孝三

松尾 博幸

前田 久年

山崎 秀明

堀崎 良夫

笠原 義久

占野 秀男

審査日程

11月1、2、4日

## 編集後記



よく判断に迷うことがある。

日曜日午後1時30分からの「たかじん委員会」や月曜日午後9時からの「TVタックル」を好んでというよりもむしろ常識としての知識吸収と物事の方向性を見定めのために、よく見ることにしている。

旬の話題の問題点が浮きぼりになり、議会の場での問題解決の判断に多いに参考になればと思うところである。

出演者は一流の博識者で正に裏の裏まで読んでの判断かと関心させられる。物事というものはあらゆる角度から観なければならず、答えはひとつではないようだ。判断のためには本当に広くて深い知識が必要だなど思うことばかりである。

議会関係に置き換える

と、自分の考えを述べる

機会は、議案質疑に始まり、一般質問やそれぞれの委員会における質問、さらには最終日の議案・意見書案に対する質疑応答・討論等があり、ここでは確たる考えを提案しなければならず能力が試されるところである。いかにいろいろの知識を会得しておくべきかである。この頃よく考えさせられることである (山)

編集委員

◎山崎 秀明○多久島 繁

前田 久年 草野 儀三郎

松尾 博幸 盛 泰子

顧問 内山 泰宏 占野 秀男

樋渡 雅純

発行

伊万里市議会

伊万里市立花町一三五―一

☎0955-23-1211

☎0955-22-1277

E-mail: gikai@city.imari.jp

印刷 山口印刷株式会社